

**テーマパークで世界初
スマホで待ち時間ゼロの“注文&会計”
スマートな飲食の実験スタート
【期間】2018年2月1日～6月30日**

ボクシーズ株式会社（東京都千代田区、代表取締役：鳥居 暁）は、ハウステンボス株式会社（代表取締役社長：澤田 秀雄 以下、ハウステンボス）が運営するテーマパーク「ハウステンボス」の一部レストラン店舗において、オーダーシステム「Putmenu（プットメニュー）」を導入し、テーマパークとして世界初の実証実験を開始したことを本日発表します。

Putmenuは、テーブルや部屋をIoT化することで、“注文0分”“会計0分”を実現しています。2017年11月に総務大臣賞を受賞したシステムです。特許取得（日米中韓）のテクノロジーにより、テーブルや部屋を特定して注文できます。来店前に料理の選択と支払いをしておけば、待ち時間ゼロで瞬時に注文を確定できます。

対象店舗はアトラクション施設が集結するエリア内の「ソーセージワーフ」。オリジナルソーセージを専用グリルで提供する本格的なソーセージを味わえるレストランです。

利用者はアトラクションに並んでいる時間にアプリで料理の選択と支払いを済ませておくことができます。その後、来店するとすぐに注文できて、食事後に会計が不要のサービスを体験することができます。

注文の確定は位置情報テクノロジー（RoomIoT）により、特定の場所内だけで行えます。そのため、離れた場所で間違えて注文して料理が冷めてしまうトラブルもありません。来店して注文しなければ、支払いは一定時間で自動的にキャンセルされます。

支払いは、オンライン決済に対応しています。そのため、注文のために並ぶ必要も財布を出す必要もありません。支払い方法は、スマホ通話料の支払い（「ソフトバンクまとめて支払い」、「ドコモケータイ払い」、「auかんたん決済」）に対応しています。アプリは会員登録が不要ですすぐに支払いできます。

商品のメニューは12言語（日本語、英語、中国語[簡体/繁体]、韓国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、タイ語、カンボジア語、ベトナム語、ロシア語、スペイン語）にも対応しているため、訪日客の満足度にも繋がります。

テーマパークにおける飲食の注文と支払いの業務にかかる労力と時間は大きなものです。近年の人手不足、そして、増加している訪日外国人の対応も大きな課題です。本実証実験では、それらの有用性を検証していきます。

Putmenuは、Microsoft Innovation Award 2016 ファイナリスト、Microsoftのスタートアップ支援プログラム「BizSpark Plus」に採択、(公財)東京都中小企業振興公社の事業可能性評価委員会の評価事業、2017年の経済産業省「IoTを活用した新ビジネス創出推進事業」に採用、MCPC award 2017で「総務大臣賞」を受賞した革新的なIoT製品です。

これらからも既成概念を変える革新的な機能に挑戦し、さらなるサービスの向上を目指してまいります。

■画面イメージ



■ボクシーズ会社概要

- 【名称】ボクシーズ株式会社
- 【本社】東京都千代田区九段北 1-3-5
TEL : 03-6268-9991
- 【設立】2006年5月23日
- 【代表取締役】鳥居 暁
- 【資本金】30,000千円
- 【業務内容】IoTサービスの総合開発
- 【URL】<http://boxyz.com/>

◆本リリースに関するお問い合わせ先◆

ボクシーズ株式会社 広報担当
〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-3-5
TEL : 03-6268-9991 FAX : 03-6268-9992